

## 2023年度 Intercultural Collaborative Learning (ICL)

### 単位互換履修生 募集要項

#### 1. ICLプロジェクトについて

東北大学、福島大学、東京外国語大学、信州大学、大阪大学、神戸大学の6大学（ICL コンソーシアム）は、文部科学省大学の国際化促進フォーラム事業の支援を受け『国際共修ネットワークによる大学教育の内なる国際化の加速と世界展開（ICL プロジェクト）』を2021年度に開始しました。このプロジェクトは留学生と国内学生の協働を授業・活動に組み入れた国際共修（ICL）の授業実践を通じ国内外の機関と共有し、高度化、国際的通用性の向上を図りながら国内外に横展開することを目的としています。

本プロジェクトでは、ICL コンソーシアムが開講する6学際領域に関連する国際共修授業科目（ICL 科目）を単位互換可能な形で提供します。<sup>1</sup>これら大学に在籍する学生は、在籍大学の定める範囲内で他大学のICL科目を履修することが可能です。単位互換履修生として履修を希望する方は、本募集要項に従い出願してください。

#### 2. 学修到達目標

本プロジェクトによる単位互換可能な授業交流を通じて、学生の国際的な学習体験の多様化と国・地域・大学を超えた学生ネットワークの形成・拡大を図り、国際性を重視し世界共通の課題の解決に挑む新時代のグローバル人材を育成します。授業では科目コンテンツの学修と文化的・言語的に多様な背景をもつ学生との意味ある交流（meaningful interaction）等を有機的に融合し、学びの質を高め、各学際領域に設定した学修到達目標の達成を目指します。

学際領域	学修到達目標
SDGs	持続可能な開発目標に対する理解を促進し、多様な視点で世界共通の課題に対する解決策を地球市民として提案する力を伸ばす
震災・復興	阪神・淡路大震災、東日本大震災の被害や減災・防災について学び、復興のプロセス・成果を世界に発信する力を身につける
異文化理解	言語・文化背景の異なる人々を理解・受容し、自文化をクリティカルに再考する中で、新しい価値観や創造力を身につける
産学連携・リーダーシップ	グローバルな環境で価値観の異なる人々とも協働し、課題発見・解決に能動的に関わりとうとするコミュニケーション力・行動力・リーダーシップを習得する
日本文化・社会	日本の文化・歴史・慣習・社会事情に深い造詣をもち、日本の魅力や課題を多角的な視点で分析・議論する力を身につける
地域社会との協働	地域社会の魅力や課題、また地域に暮らす人々を理解し、グローバルな視点で地域の発展につながる提案力・行動力を身につける

<sup>1</sup> 科目により単位互換が認められない場合があります。単位互換の可否については所属大学に確認してください。

### 3. ICL 科目（単位互換科目）

2023 年度は 6 つの学際分野から以下の ICL 科目（日本語又は英語）を開講します。開講科目については、p. 5 の「2023 年度 ICL 開講科目一覧」をご覧ください。また、各科目の詳細及びシラバスは [ICL プログラムウェブサイト](#) をご覧ください。科目によっては定員や対象学年（セメスター）が定められていることがあります。

### 4. 募集対象者

東北大学、福島大学、東京外国語大学、信州大学、大阪大学、神戸大学に履修期間を通じ在学する学部学生となります。（**大学院生は対象外です。**）その他、学部相当の交換留学生（特別聴講学生）も各大学の取り扱いにより履修可能な場合がありますので、希望する方は所属する大学の窓口にお問い合わせください。

### 5. 受講定員

科目により受講定員が定められており、履修希望者数が定員を上回る場合は開講大学での審査の結果、希望する科目の履修ができない場合がありますのでご注意ください。

### 6. ICL 科目履修までの流れ（申請方法）

履修を希望する方は、以下の手順で行ってください。

1. 下記 8「申請にあたっての確認事項」を確認する。
2. 履修を希望する授業科目を上記「3.ICL 科目(単位互換科目)」等を参照し決定する。
3. 所属学部の教務担当係に様式「ICL 単位互換履修申請届出書」※を提出する。  
※グローバルラーニングセンター [募集サイト](#) からダウンロード可能
4. 上記 3 の「届出書」を提出する際に、所属学部の教務担当係に ICL 科目を履修することについて許可を得る。
5. 所属学部の教務担当係より許可を得た後、[ICL 科目履修申請フォーム](#) から必要事項を入力する。
6. 授業科目履修の可否について下記「15.問い合わせ先」に記載の東北大学担当事務局から受理する。
7. 開講大学の案内に従い、ICL 科目の履修を開始する。

### 7. 申請期限

各学期の ICL 科目の履修申請期限は、以下のとおりです。

- 後期（二学期）：2023 年 9 月 1 日（金）正午

### 8. 申請にあたっての確認事項

事前に以下の点を確認のうえ履修申請をしてください。

- 在籍大学で事前に確認・手続きを行う必要がある場合、その指示に従ってください。
- 履修を希望する科目が指定する履修要件（例：英語力）を満たしているかをシラバス等で確認してください。
- 開講大学により授業時間が異なります。時間割の重複は認められませんので、履修を希望する ICL 科目と前後する自大学の科目の授業時間に重複がないか必ず確認してください。履修単位数の上限を超えることのないよう、在籍大学のルールを確認してください。

## 9. 在籍身分

履修を許可された学生は開講大学の特別聴講学生の身分を有します。

## 10. 成績評価と単位認定

ICL 科目の成績評価は開講大学の定めによります。修得した成績の単位認定方法は、在籍大学において確認してください。

## 11. 授業料等

ICL 科目を履修するための授業料・入学金・検定料等は徴収しません。その他、実習費・材料費等の有無についてはシラバス等で確認してください。

## 12. 受講方法

ICL 科目は、原則、オンライン授業となるため、受講の際に、各自パソコンやインターネット環境等が必要となります。

## 13. 授業開始日及び履修辞退手続き

各 ICL 科目開講大学の後期の学期（二学期）は下表のとおり開始します。ICL 科目の履修許可を得た後、原則として ICL 科目の履修辞退はできませんので、申請前に履修計画をしっかりと立ててください。やむを得ない事情により履修を辞退しなければならない場合は、下表に定める履修辞退届出期限までに下記 15 に記載の所属大学問合せ先へ届け出てください。科目を開講する大学によって、履修辞退届出期限が異なるので留意してください。

科目	後期の学期（二学期）開始日	履修辞退届出期限 (所属大学の担当窓口へ提出)
東北大学開講科目	2023年10月2日	2023年10月6日
福島大学開講科目	2023年10月2日	2023年10月13日
東京外国語大学開講科目	2023年10月2日	2023年10月13日
信州大学開講科目	2023年9月25日	2023年10月9日
大阪大学	2023年10月2日	2023年10月10日
神戸大学開講科目	2023年10月2日	2023年10月9日

### 【例：福島大学生が東北大学が開講する科目の履修辞退を行う場合】

福島大学生は、下記 15 に記載の福島大学問合せ先（国際交流センター）に 2023 年 10 月 6 日までに届出る必要があります。10 月 6 日以降は、東北大学が開講する科目の履修辞退はできません。

#### 14. 公欠

公欠については開講大学の定めによります。

#### 15. 問合せ先

本プロジェクト並びに ICL 科目の履修等に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

大学	部署	メール
東北大学	教育・学生支援部留学生課 ICL プロジェクト事務局	<a href="mailto:icl-admin@grp.tohoku.ac.jp">icl-admin@grp.tohoku.ac.jp</a>
福島大学	国際交流センター	<a href="mailto:ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp">ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp</a>
東京外国語大学	学務部教務課教務係	<a href="mailto:kyoumu-kakari@tufs.ac.jp">kyoumu-kakari@tufs.ac.jp</a>
信州大学	グローバル化推進センター	<a href="mailto:icl-shinshu@shinshu-u.ac.jp">icl-shinshu@shinshu-u.ac.jp</a>
大阪大学	国際部国際学生交流課留学生交流係	<a href="mailto:icl-osaka@ml.office.osaka-u.ac.jp">icl-osaka@ml.office.osaka-u.ac.jp</a>
神戸大学	学務部国際交流課 留学生支援グループ	<a href="mailto:stdnt-ryulife@office.kobe-u.ac.jp">stdnt-ryulife@office.kobe-u.ac.jp</a>

## 2023 年度 ICL 開講科目一覧

2023 年度に開講予定の ICL 科目一覧となります。開講科目の詳細及びシラバス等を確認のうえ申請を行ってください。

### 【後期（2 学期）開講科目】

曜日・時間 ※1	学際領域	開講大学	開講科目名	講義題目等	教授言語	単位数	定員 ※2
月 8:50-10:20	日本文化・社会	東北大学	キャリア関連学習	【国際共修】日本企業の人事管理システムとキャリアデザイン講座	英語	2	20
月 10:30-12:00	日本文化・社会	東北大学	国際教養 特定課題	【国際共修】日本の企業文化と雇用慣行	英語	2	5
月 13:00-14:30	産業連携・リーダーシップ	東北大学	グローバル学習	【国際共修】グローバルコミュニケーション・スキル	日本語	2	3
月 14:40-16:10	異文化理解	東北大学	多文化 PBL	【国際共修】言語コミュニケーションとパフォーマンス	英語	2	10
月 16:20-17:50	震災・復興	福島大学	Understanding Post-disaster Fukushima	Understanding Post-disaster Fukushima	英語	2	25
月 16:20-17:50	異文化理解	信州大学	グローバルコミュニケーション論	グローバルコミュニケーション論	日本語	2	
火 16:20-17:50	日本文化・社会	東北大学	国際教養 特定課題	【国際共修】日本の大学と大学生	英語	2	3
火 16:20-17:50	異文化理解	信州大学	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	日本語	2	10
水 13:30-15:00	日本文化・社会	大阪大学	日本のメディアとコミュニケーション	日本のメディアとコミュニケーション	英語	2	各大学 2
水 14:40-16:10	異文化理解	東北大学	国際事情	【国際事情】アフリカの現状とグローバルシステム	英語	2	10
水 16:00-17:30	日本文化・社会	東京外国語大学	日本の現在を知る 2	日本の社会問題	英語	2	5
木 14:40-16:10	震災・復興	福島大学	国際協働プロジェクト学習 I	国際協働プロジェクト学習 I	英語	2	25
木 17:00-18:30	異文化理解	神戸大学	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	グローバルリーダーシップ育成基礎演習	日本語/ 英語	2	10
金 14:40-16:10	産学連携・リーダーシップ	信州大学	グローバル人材論（「グローバル」マインド養成）	グローバル人材論（「グローバル」マインド養成）	日本語	2	各大学 3

※1：各大学の時間割り及び学年歴は[こちら](#)よりご確認ください。

※2：定員は ICL コンソーシアム加盟大学からの参加可能人数。定員の記載がない科目は、定員を特に定めていない。



Japan Forum for Internationalization of Universities: "Accelerating Internationalization in University Education and Stimulating Global Expansion via Intercultural Collaborative Learning Networks"  
**AY 2023 Intercultural Collaborative Learning (ICL)  
 Credit Exchange Student Application Guide**

**1. About the ICL Project**

The six universities of the ICL Consortium (Tohoku University, Fukushima University, Tokyo University of Foreign Studies, Shinshu University, Osaka University, and Kobe University), supported by the Japan Forum for Internationalization of Universities, began "Accelerating Internationalization in University Education and Stimulating Global Expansion via Intercultural Collaborative Learning Networks (ICL Project)" in AY 2021. This project aims to increase sharing, advancement, and international mobility together with foreign and domestic organizations through Intercultural Collaborative Learning (ICL) that incorporates cooperative classes/activities for international and domestic students while expanding in Japan and abroad.

This project enables us to offer a credit exchange for ICL classes offered by the ICL Consortium in six interdisciplinary fields. Students at the above universities can take ICL classes in areas approved by their home universities at other universities. Students interested in taking classes through the credit exchange should follow the application instructions in this guide.<sup>1</sup>

**2. Learning Attainment Goals**

Through classes eligible for the credit exchange, we hope to diversify the students' international learning experiences, help them form and expand student networks beyond country, region, and university, and foster, with an emphasis on international awareness, a new generation of global talent to find solutions to worldwide problems. The class content will organically incorporate meaningful interaction among students of different linguistic and cultural backgrounds to increase the quality of their learning and help them achieve learning attainment goals in each interdisciplinary field.

Interdisciplinary Field	Learning Attainment Goals
SDGs	Classes will promote understanding of Sustainable Development Goals and increase the students' ability to propose solutions to common worldwide issues from diverse perspectives as global citizens.
Earthquakes & Rebuilding	Students will study Japan's harm/disaster mitigation/prevention efforts and the restoration process following the Hanshin-Awaji and Great East Japan Earthquakes, and develop their ability to disseminate the results internationally.
Intercultural Understanding	Students will acquire new values and creativity while building understanding/acceptance of people from different linguistic and cultural backgrounds, and critically rethinking their own cultures.
Industrial-academic Cooperation & Leadership	Students will collaborate in a global environment among people who hold different values and acquire the communication skills, initiative, and leadership needed to actively discover and solve problems.
Japanese Culture & Society	Students will become well-versed in Japanese culture, history, customs, and social conditions, and develop the ability to analyze/debate Japan's strengths and problems from multiple perspectives.
Regional Communities & Cooperation	Students will gain an understanding of the strengths and problems of regional communities and the people who live there, and acquire the proposal skills and initiative to develop them from a global perspective.

---

<sup>1</sup> Credit exchange might not be approved depending on the class. Please ask your home university whether the credit exchange can be approved.

### **3. ICL Classes (classes eligible for credit exchange)**

ICL classes (Japanese or English) in six interdisciplinary fields will be offered in the 2023 school year. For a list of class subjects, please see "2023 Academic Year ICL Classes." Please see the ICL website for class details and syllabuses. Class enrollment limits and eligible school years (semesters) vary depending on the class.

### **4. Application Eligibility**

Undergraduate students who, for the duration of the classes, will be enrolled at Tohoku University, Fukushima University, Tokyo University of Foreign Studies, Shinshu University, Osaka University, or Kobe University are eligible. (Graduate school students are not eligible.) In addition, undergraduate (or equivalent) exchange students (Special Auditing Students) may be eligible depending on the university's policies. Please inquire at your home university if you are interested.

### **5. Class Capacity**

Some classes have enrollment limits. If the number of applicants for a class exceeds its limit, the host university will screen applicants. Please understand that you may not be able to take your desired classes.

### **6. Application to Enroll in ICL Classes (How to Apply)**

Please follow the instructions below if you wish to enroll in ICL classes.

1 Review items in "8. Notes on Application".

2 Select (a) course(s) to enroll by looking at "3. ICL Classes (classes eligible for credit exchange)"

3 Submit "ICL Course Application Report"\* form to the academic section of your faculty/school.

\*downloadable from [the Global Learning Center website](#).

4 Upon submission, ask for an approval from the member of your faculty/school to apply for and enroll in (an) ICL course(s).

5 Once you get an approval from your faculty/school, fill in all required items on [the ICL application form](#).

6 Applicants will be informed of the host university's decision via a respective office listed in "15. Contact Information".

7 Successful applicants will enroll in ICL classes as per the host university's instructions.

### **7. Application Period**

ICL class application periods will be as follows for each term.

- 2nd Term: September 1 Friday (noon), 2023

### **8. Notes on Applying**

Please read the following carefully before applying.

- Check with your home university in advance and follow their instructions regarding any necessary procedures.
- Check the syllabus of your desired class to make sure you fulfill any prerequisites (e.g. English language ability).
- Class times vary among the host universities. You will not be permitted to enroll in a class if it conflicts with other classes. Check to make sure that your desired ICL class does not conflict with any classes you are taking at your home university. Check your home university's regulations to ensure you do not exceed its maximum credit limit.

### **9. Enrollment Status**

If you are permitted to enroll in the class, your status at the host university will be Special Auditing Student.

**10. Grades and Credit Approval**

Grades for ICL classes will be determined by the host university. Please ask your home university how to get credits approved for ICL classes.

**11. Tuition Fee Etc.**

Tuition, entrance, and examination fees will not be collected for ICL classes. Please see the relevant class's syllabus to see whether it requires any training/materials fees.

**12. Attending Classes**

Generally, ICL classes will be held online, so you will need a computer and Internet connection to attend.

**13. Start of Class, Canceling Enrollment**

The starting date for ICL classes at each host university for 2nd term is shown in the table below. As a rule, once you are granted permission to enroll in an ICL class you cannot later cancel your enrollment. Before applying, please plan your class schedule carefully. If you must cancel a class for unavoidable reasons, please contact your home university using the information provided in "15. Inquiries" by the cancellation deadlines shown below. Please note that the cancellation deadline varies depending on the host university.

Host University	Start of 2nd Term	Cancellation Deadline (submit to home university)
Tohoku University	October 2, 2023	October 6, 2023
Fukushima University	October 2, 2023	October 13, 2023
Tokyo University of Foreign Studies	October 2, 2023	October 13, 2023
Shinshu University	September 25, 2023	October 9, 2023
Osaka University	October 2, 2023	October 10, 2023
Kobe University	October 2, 2023	October 9, 2023

Example: A Fukushima University student wants to cancel a class at Tohoku University.

The student must contact Fukushima University using the information from "15. Inquiries" (International Center) by October 6, 2023. The student cannot cancel the Tohoku University class on/after October 6.

**14. Excused Absences**

Students will follow the host university's rules on getting absences excused.

## 15. Inquiries

Please use the contact information below for inquiries about this project and ICL class enrollment.

University	Department	Email
Tohoku University	Education and Student Support Department, Student Exchange Division, ICL Project Office	<a href="mailto:icl-admin@grp.tohoku.ac.jp">icl-admin@grp.tohoku.ac.jp</a>
Fukushima University	International Center	<a href="mailto:ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp">ryugaku@adb.fukushima-u.ac.jp</a>
Tokyo University of Foreign Studies	Educational Affairs Department, Educational Affairs Division, Educational Affairs Office	<a href="mailto:kyoumu-kakari@tufs.ac.jp">kyoumu-kakari@tufs.ac.jp</a>
Shinshu University	Center for Global Education and Collaboration	<a href="mailto:icl-shinshu@shinshu-u.ac.jp">icl-shinshu@shinshu-u.ac.jp</a>
Osaka University	International Student Affairs Division, Department of International Affairs	<a href="mailto:icl-osaka@ml.office.osaka-u.ac.jp">icl-osaka@ml.office.osaka-u.ac.jp</a>
Kobe University	Students Affairs Department, International Exchange Division	<a href="mailto:stdnt-ryulife@office.kobe-u.ac.jp">stdnt-ryulife@office.kobe-u.ac.jp</a>

## 2023 Academic Year ICL Classes

This is a list of ICL classes for the 2023 academic year. Before applying, please check the details and syllabuses for the classes.

### 2ndTerm Classes

Day / Time *1	Interdisciplinary Field	Host University	Class	Title Etc.	Instructor/ Language	Credits	Enrollment Limit *2
Mon 8:50-10:20	Japanese Culture & Society	Tohoku	Global Career	Business Global Leadership and Career design on Japanese Company	English	2	20
Mon 10:30-12:00	Japanese Culture & Society	Tohoku	Special Topics on Global Issues	Japanese Corporate Culture, Employment Practices	English	2	5
Mon 13:00-14:30	Industrial-academic Cooperation & Leadership	Tohoku	Global Seminar	Interpersonal Communication	Japanese	2	5
Mon 14:40-16:10	Intercultural Understanding	Tohoku	PBL in Multicultural Environment	Language Communication and Performance	English	2	10
Mon 16:20-17:50	Earthquakes & Rebuilding	Fukushima	Understanding Post-disaster Fukushima	Understanding Post-disaster Fukushima	English	2	25
Mon 16:20-17:50	Intercultural Understanding	Shinshu	Global Communication	Global Communication	Japanese	2	
Tue 16:20-17:50	Japanese Culture & Society	Tohoku	Special Topics on Global Issues	Japanese Universities and Students	English	2	3
Tue 16:20-17:50	Intercultural Understanding	Shinshu	International Understanding and Multi-cultural co-living II	International Understanding and Multi-cultural co-living II	Japanese	2	10
Wed 13:30-15:00	Japanese Culture & Society	Osaka	Media and Communications in Japan	Media and Communications in Japan	English	2	2 per Univ.
Wed 14:40-16:10	Intercultural Understanding	Tohoku	Understanding International Issues	Africa and the Global System	English	2	10
Wed 16:00-17:30	Japanese Culture & Society	TUFS	Aspects of Contemporary Japan 2	Understanding Japan's foreign and security policy: From passive peaceful state to Proactive Contribution to Peace	English	2	5

Thu 14:40- 16:10	Earthquakes & Rebuilding	Fukushima	International Collaborative Project Learning I	International Collaborative Project Learning I	English	2	25
Thu 17:00- 18:30	Intercultural Understanding	Kobe	Introductory Seminar for Promoting Global Leadership	Introductory Seminar for Promoting Global Leadership	Japanese/E nglish	2	10
Fri 14:40- 16:10	Industrial- academic Cooperation & Leadership	Shinshu	Global Human Resources (What is glocal mind?)	Global Human Resources (What is glocal mind?)	Japanese	2	3 per Univ.

\*1 Please see "[2023 Timetable](#)."

\*2 The enrollment limit indicates the number of students from ICL Consortium universities that can participate. If this is blank, the class does not have an enrollment limit.

【2023年度後期】ICL科目\_読み替え科目リスト

相当する東北大学の授業  
旧カリ  
Tohoku University Courses  
Eligible for Credit Exchange  
[Old Curriculum]

相当する東北大学の授業  
新カリ  
Tohoku University Courses  
Eligible for Credit Exchange  
[New Curriculum]

ICL Course Credit Exchange Chart: 2nd Term 2023  
ICL開講科目/Eligible ICL Courses

University	開講科目名 Lecture Subject	講義題目等 Lecture Title	担当教員 Instructor	学際領域 Disciplinary Area	教授言語 Language of Instruction	単位数 # of Credits	授業概要 Abstract
Fukushima University	国際協働プロジェクト学習 I (International Collaborative Project Learning I)	国際協働プロジェクト学習 I (International Collaborative Project Learning I)	マクマイケル・ウィリアム・ウィリアム McMichael	震災・復興 (Natural Disaster/Recovery)	英語 English	2	Continuing on from Term 1, students will partake in project work related to the Our Fukushima Project, a student-led initiative started in 2019 that aims to promote student perspectives about Fukushima to the world through the use of various projects including creation of content for social media platforms such as YouTube, Instagram, and Tiktok. During the term, students will be expected to gather analytical information from their respective countries, collaborate to identify problems/challenges related to the initiative, and formulate concrete recommendations for the project's future based on their actual
Fukushima University	Understanding Post-disaster Fukushima	Understanding Post-disaster Fukushima	マクマイケル・ウィリアム McMichael	震災・復興 (Natural Disaster/Recovery)	英語 English	2	This class is intended for students who want to acquire the skills needed for accurately communicating in English the challenges and lessons learned from Fukushima following the Great East Japan Earthquake and Nuclear Accident. This year's class will analyze facts about Fukushima that are often misunderstood both domestically and internationally, with a specific focus on the treated water issue. It will also observe and analyze actual examples of reputational damage in the past, and help students acquire the knowledge and skills for better understanding what factors are behind such information disasters, and how to communicate scientific facts with high reliability.
TUFS	日本の現在を知る (Aspects of Contemporary Japan 2)	Understanding Japan's foreign and security policy: From passive	李 信愛 Lee Shin Ae	日本文化・社会 (Japanese Culture/Society)	英語 English	2	This course is designed to upgrade student's overall understanding about Japan's foreign and security policy by focusing on Japan's changing pacifism. Starting from a historical overview of postwar recovery in light of the Yoshida doctrine, this course will introduce the key issues and debates regarding Japan's evolving foreign and security policy in general. The lecturer will touch upon Japan's recent national security strategy under the banner of Proactive Contribution to Peace and Free and Open Indo Pacific. In addition, this course will discuss the shift in Japan's pacifism and its implications for the regional security nexus.
Shinshu University	グローバル人材論	「グローバル」の真実	永田 浩一 Hiroko NAGATA	産業連携・リーダーシップ (Business Partnership/Leadership)	日本語 Japanese	2	This course aims to provide opportunities for students to learn about cases of global environments in industry, academia, and local government in Nagano Prefecture through lectures. Additionally, we will discuss research issues for Global and Local Human Resource Management. Through lectures, we will be able to learn how people can work together beyond borders and boundaries in the age of globalization. Moreover, we highlight the diversity and inclusion (D&I) in global and local business. 本授業では、長野県内の産官学それぞれの立場でグローバル化対応に向けて実施している活動、その課題を認識し、解決の糸口を模索し、将来展望を思考する。地元企業や行政におけるグローバル環境で活躍している方をゲストスピーカーとして招き、体験談を聞くことにより、将来、企業等に就職してグローバルな環境で働く際に必要とされる素養を身につける準備をする。他者（留学生も受講予定）と意見交換しながら協働で課題に取り組みグループワークを通じて学びを深める。
Shinshu University	グローバルコミュニケーション論 Global Communication	グローバルコミュニケーション	仙石 祐 YU SENGOKU	異文化理解 (Multicultural Awareness)	日本語 Japanese	2	This is an "international co-learning class" in which domestic and international students collaborate and learn from each other, and the language used is Japanese. The instructor will present only basic knowledge and reference materials, and will provide many opportunities for group work and discussion by the students, emphasizing active learning. The first half of the course focuses on the theme of "studying abroad = learning away from your home country," and the second half on the theme of "career abroad = working away from your home country". There will also be lectures by outside speakers with practical experience who will provide useful topics for the units final project. あらゆる分野でグローバル化が進む現代において、将来社会の一構成員としてどのようにグローバル化にコミットするかを学ぶことがねらいである。そのために、①様々な分野でグローバル化が進展している現象を捉え、②今後のためにグローバル化が関与している
Shinshu University	国際理解と多文化	国際理解と多文化	佐藤 支那 Tomonori Sato	異文化理解 (Multicultural Awareness)	日本語 Japanese	2	①主に日本国内の多文化共生について学び、認識を深め、実際の行動に移せるようになる。 : 65% ②世界の多様な状況、考え、問題点などを理解・認識し、一人の人間として世界の多くの人、国、文化の中で生きていく意味を考える。 : 35% ためのものです。 The goal of this class is ①Mainly to learn about multicultural conviviality in Japan, to deepen awareness, and to be able to take actual action. : 65%. ②To understand and recognize the diverse situations, ideas, and problems in the world, and to think about the meaning of living among many people, countries, and cultures in the world as a human being. 35%
Osaka University	日本のメディアとコミュニケーション Media and Communications in Japan	日本のメディアとコミュニケーション	近藤 佐知子 SACHIKO KONDO	日本文化・社会 (Japanese Culture/Society)	英語 English	2	This lecture is designed for students who wish to study critical readings on news stories (i.e. media literacy). In this series of lectures, not only theories of communication, but also the history of mass media in modern Japanese society will be discussed. In so doing, several aspects of the mass media will be studied, such as newspapers, broadcast (TV), magazine journalism, and so on. 本授業では、批判的にニュース等を分析する術を学びたい学生を対象にしている。コミュニケーション理論だけでなく、日本社会でのマスメディアの歴史等についても検討する。したがって、新聞、放送 (TV)、雑誌ジャーナリズムなど、様々な側面からメディアに関する知識を積む。
Kobe University	グローバルリーダーシップ育成基礎演習 国際学生ハリスン・チャード HARRISON	グローバルリーダーシップ育成基礎演習 国際学生ハリスン・チャード HARRISON	黒田 十朗 KURODA Chiharu	異文化理解 (Multicultural Awareness)	日本語・英語 Japanese/English	2	This class is aimed at developing leadership and intercultural competency needed for working with other people from different backgrounds, through planning, preparing and implementing the 29th Kobe University International Students' Symposium with home and international students. This is a bilingual class using Japanese and English. This class will be conducted in a high-flex format with face-to-face for Kobe University students and remote real-time using Zoom for ICL students.

開講科目名	単位数	開講科目名	単位数
国際教養 Global Studies	2	国際教養特定課題 Special Topics on Global Issues	2
国際教養 Global Studies	2	国際教養特定課題 Special Topics on Global Issues	2
日本社会・文化B Japanese Society and Culture B	2	文化と社会の探求 Exploring Culture and Society	2
グローバルキャリアA Global Career A	2	キャリア関連学習 Global career	2
異文化理解 Intercultural Understanding	2	多文化特定課題 Special Topics on Multicultural Society	2
日本社会・文化A Japanese Society and Culture A	2	文化理解 Understanding Culture	2
グローバル・コミュニケーション Global Communication	2	多文化間コミュニケーション Multicultural Communication	2
グローバル人材基礎演習 Seminar on Global Knowledge	2	グローバル学習 Global Seminar	2